

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290800174		
法人名	ヒューマンライフケア株式会社		
事業所名	グループホーム市川		
所在地	千葉県市川市須和田一丁目11番3号		
自己評価作成日	平成25年11月25日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成25年12月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

玄関の周りには四季折々の草花を植え色とりどりに飾られ楽しめるようにしている。ホーム内も家庭のような温かみになるようにと壁紙から照明までこだわったものとなっており、開設から7年近く経つが掃除が行き届いており清潔感を保っている。職員も離職率が少なく利用者も慣れ親しんだ職員と過ごし落ち着いている。また業務優先ではなく利用者一人ひとりのケアを優先にし利用者主体の生活となっている。月に1度ケース会議で利用者の状態把握に努め、職員がひとつのチームとなって利用者のケアに当たっている。全体会議では職員一人ひとりが意見を出し合える環境づくりに努めている。また月に一度ご家族様にホームでの利用者の生活や状態などを写真と一緒に送らせて頂きお伝えしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム市川」は、静かな住宅地の中にある。施設内は、家庭的な雰囲気を大切にしており、照明や飾り等を工夫し、温かみのある環境作りがなされている。日頃から清掃を徹底しており、細かな点まで気配りし、来訪する家族や地域住民の好評を得ている。備蓄食料の確保・太陽光発電の導入等、防災意識を高く持った施設となっている。また、定期的に開催している会議等で、入居者について、意見・情報交換を行い、入居者本位のサービスの実践及び職員間での情報の共有に努めている。職員は明るい笑顔で入居者に接し、家族のように寄り添いながら支援を行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができて (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所やスタッフルームに職員が目につきやすいよう理念を掲示している。又毎月の全体会議では理念の暗唱をし理念実現のため、どんな取り組みをしていくか常に話あい具体的な取り組みに反映している	「すべての人を尊重し、笑顔で触れ合う。お互いを思いやる。支えあう」等を主眼とした理念を掲げている。理念や運営方針を事業所内に掲示及びパンフレットに明記し、周知を図っている。また、会議にて毎回理念の確認唱和を行い、全職員で共有の上、理念の実践に取り組めるよう努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元の自治会長にご協力いただき必ず地域運営会議に出席して頂いていることもあり自治会加入はもちろん、地域のボランティア(コーラス・傾聴・太極拳)や中学生の職場体験を受け入れさせていただいている	自治会に加入し、地域行事への参加や日頃の挨拶等で地域との交流を図っている。地域のボランティアを受け入れており、傾聴・太極拳等を実施し、入居者の生活の活性化を図ると共に、中学生の職場体験の受け入れを実施し、地域貢献にも努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営推進会議においてホームとして地域の全体や高齢者の暮らしに暮らしに役立つことはないか毎回話し合っている。また中学生の職場体験などを通して認知症の人への理解が深まることを目標にしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の際には写真と一緒に利用者の日常生活を紹介させて頂いている。またホームでの取り組みについてもお話させて頂きご意見などいただきサービス向上に努めている	地域包括支援センター職員・市役所職員・自治会長・地域住民・家族等を構成員として、2か月に1回、運営推進会議を開催している。会議では、施設の活動報告や意見・情報交換を行い、施設の理解促進及び施設サービスの向上に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議には市川市介護保険課の職員にも参加いただき情報交換やケアサービスについてもアドバイスをいただいている	日頃から市に対して、業務における相談や報告等を行い、連携を図っている。また、氏のグループホーム連絡会に参加し、会議の中で市の職員を交え、意見交換や事例検討等を行い、協働でサービスの向上に取り組む仕組みを構築している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在身体拘束者はゼロであるが、身体拘束ゼロを今後とも維持できるよう身体拘束廃止委員会を発足しケアマネを中心に身体拘束についての話し合いを行っている	身体拘束排除や虐待防止における研修やマニュアルを通じて、全職員に理解を深めている。施設にて、身体拘束委員会を設置し、身体拘束排除に向けた支援方法の検討を行い、適切なケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「認知症への対応10か条」「虐待防止」の資料を事務所や休憩室に職員の目につきやすいところに掲示している。また職員の利用者への対応について全体会議で話し合い管理者は虐待防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて利用できる体制作りを心がけている。成年後見人制度を利用されている方もいらっしゃる。今後地域支援包括などで行われる勉強会にも積極的に参加していく		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には書面・口頭で時間を掛けて説明を行い疑問点や不明な点を訪ね十分な理解と納得が得られるまでお答えしている。また改定時も同様に面会にいらした祭やお電話にて十分な説明を行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時には苦情相談窓口を明確にお知らせしている。また施設計画作成時ケアマネ・計画作成担当者が要望をお伺い、検討し可能な限り反映できるよう努めている	家族の面会時・電話連絡時・運営推進会議にて、意見・要望等を確認している。必要に応じて、職員・家族・看護師にて話し合いの場を設け、サービスの改善・家族の不安解消に繋げている。また、定期的に日々の様子を手紙にし、送付しており、家族の理解が得られるよう工夫している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議の際には職員一人ひとりの意見を聞き、検討し実践している。また職員がいつでも意見が言いやすいよう職場の雰囲気づくりに努めている	定期的な会議を開催し、職員の意見・提案等を確認している。また、管理者や法人職員が個別に意見・思い等を確認しており、働きやすい職場環境の整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の性格や得意分野・苦手なことも把握しており職員の向上心につながるよう努力しているが介護の重度化や人手不足などが続き奮闘している。せめてお給与が上がるよう働きかけている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の能力やケアの実態・能力等を把握しその都度助言、アドバイス、相談なども行っている。研修も全体会議で看護師・ケアマネが率先して行っており、12/9には講師を招いて研修予定		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市川市介護保険事業者連絡協議会に加入しており管理者が中心に研修などに積極的に参加している。他事業者との交流を図り見学や意見交換を通して相互にサービスの質の向上を目指すよう取り組んでいる		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居を希望される利用者には必ず介護支援専門員が自宅にお伺いし生活状況・要望を把握し、その情報を共有した職員全員でその方が話しやすく・安心できる環境づくりをしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が困っていらっしゃることは最初のお電話や見学時のご相談からお伺いし、不安を受け止め安心してサービスが利用できるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の中でどういう支援を必要とされているか見極め、入所後の生活を想定し具体的なサービス方法を提案させて頂いている。また他のサービスや施設が望ましいと判断した場合には他のサービスも紹介している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の調理や掃除などは利用者と一緒にやっている。お手伝いいただいた際には感謝の言葉が自然と出ている。また得意分野をみつけその方にあったお手伝いをお願いしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度お手紙に写真を添えて利用者の状況をお伝えしている。また面会にこられた際には利用者の状況をお話させて頂き、ご協力願うこともある		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人の面会支援を行い、なじみの場所等への個別支援は基本的に家族にお願いしているが、状況に応じて個別に外出支援を行っている	家族以外にも、知人や友人の訪問が可能となっており、馴染みの関係が継続できるよう配慮している。また、希望に応じて、手紙のやり取り等を支援し、馴染みの人との関係継続に努めている。家族の協力の下、馴染みの場所への外出等を実施し、なじみの場所での楽しみを支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりの得意分野や性格など把握し何かしらの役割を見つけ共に協力し合い生活できるようにしている。また利用者同士が交流を持てるよう職員が間に入ることもある		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても相談や支援に努める主旨はお伝えさせて頂いている。他に事業所に移られた際にはホームでの生活状況などの情報提供を行っていく方針である		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人またはご家族からご希望・要望をお伺いし一人ひとりの希望・要望に添えるよう常に他職種で検討しご本人本位のケアが出来るよう努めている	契約時に本人・家族から意向・生活歴・身体状況等を確認し、記録している。必要に応じて、医療機関や他サービス事業所から情報収集し、より詳細な情報の把握に努めている。必要に応じて、家族・看護師・職員で話し合いを行い、意向の把握にも努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご本人の過去の生活状況、サービス利用経過など時間をかけてお伺いし把握できなかった部分についてはその都度ご家族に確認している。また生活歴については振り返りとして全体会議で管理者が2名ずつ改めて紹介している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の様子はケア日誌に記録し活動内容やかつ同時の様子など記録し申し送りや全体会議で職員全員で把握できるよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度ケース会議を開き課題や、今後のケアについて話し合う機会を設けている。ケアプラン作成の祭にはご本人様、ご家族の方からご意見をいただいている	本人・家族の意向や職員会議での検討会議の内容を踏まえた上で、介護計画を作成している。定期的に、目標の達成状況の確認や評価を行い、必要に応じて、介護計画の見直しを行っている。常に職員が介護計画を確認しながら日々の記録を行えるよう工夫している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日の様子ごとにケア日誌に記録している。また普段の生活で気づいたこと、工夫したことなど職員間で共有できるよう連絡ノートに記入している。それらを元にケース会議をし介護計画の見直しにつながっている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の状況を把握し個々のニーズに応えられるよう必要なサービスを常に検討しながら介護にあたるよう努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの協力を得て利用者の好きなことを中心に取り入れ、豊かな暮らしになるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホーム往診の医師以外のかかりつけ医や専門医の受診はご家族に対応をお願いしている。ご家族が都合がつかない祭はホームの職員が同行することもある。また通院時には必要に応じてホームでの記録や看護師の情報を通院時に参考資料として提出する支援を行っている	内科往診や歯科往診が行われていると共に、協力病院や掛かりつけ医への受診を行い、適切な受診支援を行っている。看護師による健康管理・服薬管理を行っている。医療連絡ノートを作成し、医療面での情報共有を図っている。その他にも、看護師が医師や家族と情報交換をし、医療面での不安解消に努めている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	専従の看護師に利用者に関わればすぐに連絡・相談する体制が整っており、月に一度のケース会議のときも看護師が参加し意見を求めている。また医療用連絡ノートにて情報を共有している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した祭には看護師もしくはケアマネージャが病院へ伺い病状の把握と共にご家族や担当医と情報交換を行い退院の見通しや退院後のケアについて話し合いを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	極端に重度化した場合であっても「常時医療管理下」「介護困難」でない限り支援していく方針である。その際には医師・看護師と密に連携し全職員で対応していく	契約時に重度化・終末期における施設方針を説明し、同意を得ている。必要時には、家族と話し合いを重ね、施設で出来る限りの支援ができるよう努めている。また、家族の意向や状況に応じて、医療機関・他施設への移行がスムーズに行えるよう協力体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	管理者が応急手当、緊急時の対応などの研修を受け、内部研修で発表し職員全員で共有している。看護師も全体会議の際に指導している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震や火災を想定した避難、通報、消火訓練を年2回消防署立会いの上実施している。近隣の方にも声をかけて参加して頂けるよう働きかけている	消防署立会いの下、年2回の消防避難訓練の実施及び設備業者による消防設備の点検を行っている。自動通報装置・スプリンクラー・火災報知機等の消防設備を設置すると共に、備蓄食糧や太陽光発電の設置等がなされ、火災・震災対策が講じられている。運営推進会議等を通じて、地域住民へ協力の呼びかけを行っており、地域との協力関係を構築している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は一人ひとりにあった声かけをしており、言葉使いや態度には充分注意して介護に当たっている。また個人情報やケア記録も利用者の目に触れないよう収納している	理念の中に、個人の尊重を掲げており、プライバシー保護や接遇について、会議等で話し合いを行い、入居者一人ひとりに合わせた対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の思いや感情を引き出す努力や声かけは職員が皆常に行っている。生活場面の中で選択、自己決定が出来るよう声かけし、働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は自己の業務優先ではなく、個々の希望に添えるよう支援できるよう努めている。日中活動も押し付けではなく要望にあわせ柔軟に変更しながら実施している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が好きな・その人らしいお洋服が着られるよう、おしゃれが出来るよう支援している。また理容師に来てもらい好きな髪形を楽しんで頂いている。長年スカートを愛用していた方にはスカートをはいていただいている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホワイトボードにメニューを書き食べる意欲につなげている。また嫌いなものは禁食として代替え食を提供している。利用者の状態にあった食事を提供し、下準備から片付けにいたるまで利用者と職員と一緒にこなしている	入居者の希望に応じて、食事の準備から片付けまで共同で行っている。献立や食材の配送は業者に委託しており、栄養バランスに配慮した食事提供がなされていると共に、入居者の身体状況に応じて食事形態を工夫している。定期的に外食会の実施・行事食の提供等を行い、食に対する楽しみを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスがとれたメニューにし、食事量・水分量は日誌に記載し把握している。また一人一人の状態にあった食事量、食事内容となっている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、口腔清潔に努めている。利用者の口腔状態については異状があればすぐに看護師に連絡し、必要なら歯科の往診を受けており、一人ひとりにあった口腔ケアをしている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、利用者の状態に合わせたものを使用して頂いている。	日誌の中で、一人ひとりの排泄状況・水分及び食事量を記録しており、個々の排泄パターンに合わせた適切な支援を行っている。困難な場合でも、トイレに入る機会を必ず設け、なるべくおむつやパットの使用機会を減らす工夫をしている。夜間においては、トイレ誘導やポータブルトイレの使用により、適切な支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常的に排便状態の確認記録を行い、便秘予防に効果的な体操や運動をとり入れたり、希望に応じて乳製品を多く摂取していただいている		

【千葉県】 グループホーム 市川

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は出来る限り利用者の希望(夜入浴、同姓介助)に沿うようにしている。入浴拒否の強い利用者には、ご本人の体調やご気分、声かけにも気をつけて支援している	毎日入浴を実施しており、適切に入浴機会を設けていると共に、必要に応じて、清拭・シャワー浴・部分浴を実施しており、入居者の清潔保持に努めている。浴室には、トイレ・エアコン・テレビ等が設置されており、安全且つ快適に入浴ができる設備が導入されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の睡眠パターンの把握をしその人にあつた睡眠状況が保てるよう援助している。また夜間の睡眠が確保できるよう日中の活動が充実するように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については看護師が管理しており、利用者に薬の説明を求められる度にご本人様が不快にならない程度に薬の効能については説明させて頂いている。副作用についてははっきり説明している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事以外に嗜好品を購入し食べたいときに食べて頂いている。また一人一人の得意分野を職員全員で把握しているので適切な役割、楽しみ・近所への散歩など取りいれ生活の充実につながっていると思う		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	遠方への外出は基本的に家族にお願いしている状況。利用者の身体状況の重度化も進んでおりすぐには対応できない状態だがなるべく利用者の希望に添えるよう職員で対応している	日頃から散歩や買物等を実施しており、戸外に出る機会を設けている。また、ウッドデッキや屋上があり、気軽に外の空気を楽しめるよう配慮している。定期的に外出会を企画・実施し、戸外での楽しみを提供している。	日頃の外出及び定期的な外出会を実施しているが、入居者の身体機能の低下に応じて、外出の方法や外出に代わる楽しみを工夫し、より入居者の生活が活性化するような取り組みを期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は金銭トラブル防止のため事務所で管理している方がほとんどだが、利用者の希望時いつでも使える状態になっている。お金が手元にないと不安になってしまう方にはご自分で管理して頂き職員も確認している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話はいつでも使える状態になっており希望時は職員が対応して支援している		

【千葉県】 グループホーム 市川

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除の時間を設けホーム内は常に清潔が保たれており、共有部分の温度もこまめに調節をしている。壁紙や照明についても病院ではなく家庭の雰囲気になっており利用者の手作りの作品や行事の写真なども展示しとても暖かい空間となっている。	施設内は、落ち着いた雰囲気になっており、ソファやテーブルを設置し、入居者が落ち着いて過ごせる環境作りがなされている。随所に、入居者の作品・写真の掲示や季節飾りがなされており、温かみのある空間となっている。また、スロープやエレベーターが設置されており、入居者の身体状況にも配慮した造りとなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日常のほとんどを過ごす食堂には利用者の状態にあった椅子を使い、ソファなども配置しそれぞれ好きなところで過ごせる空間となっている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室ごとに温度調節が出来るようエアコンが設置されておりご自宅で使っていた物も多数置いていただいている。ご家族・ご本人の希望に合わせ適宜模様替えなども行っている	入居者の希望に応じて、馴染みの物を持ち込む事が可能となっており、落ち着いて生活できるよう配慮している。全居室にエアコンや呼び出しブザーが設置されており、安全且つ快適に生活できる造りとなっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はすべてバリアフリーになっておりエレベーターも設置されているが、階段を使う利用者も数人おり職員見守りのもと使用して頂いている。		